



国際基督教大学高等学校

International Christian University High School



ICUHS

Guidebook

2027

それぞれの可能性が

ICUHS SCHOOL MISSION

ICU高校は1978年、日本で初めて帰国生徒の受け入れを主な目的とする高校として学校法人国際基督教大学により設立されました。国際基督教大学と建学の精神を同じくしています。キリスト教信仰に基づき、世界人権宣言にうたわれている人権尊重の精神を重んじ世界平和に貢献する人となるよう、祈りつつ教育することを本校の目的とします。

設立以来半世紀、世界の100を超える国や地域に在留した8千名を超える帰国生を受け入れてきました。1学年の定員は240名。160名の帰国生と80名の国内生が混ざり合い、伸びやかな明るい校風と豊かな自然環境のもと3年間を過ごします。

多様な他者と共に豊かに学び、それぞれの違いを尊びつつ協力し合う

学校生活を送ることにより、自身の思惟を言葉にして考え行動する力、異なる考えに聴き議論し知恵を合わせて課題に向かう力、そのために必要となる人間性を養い、自身に与えられた生と能力とを存分に生かしつつ、よき市民として生きる資質を育みます。

ICU高校は学校自体が多文化社会、隣の席に異文化。生徒は日々出会い、共に学び合い、共に分かち合いながら他者理解を深めようと模索します。そこで感じる違和感や疎外感をも大切にしながら、自分自身への気づき、視野や世界の広がりを楽しみます。

1万1千名を超える卒業生が、本校の深く大きなミッションを担いつつ世界各地、また多彩な分野で活躍しています。

ICU高校がめざす教育



Check!

QRを読み込んで
Web ページに
アクセスしよう!

一人ひとりを大切にする教育

ICU高校は、異なるバックグラウンドをもつ生徒一人ひとりを尊重し、生徒の特性を生かす教育を行っています。生徒が主体的に参加して切磋琢磨できるように、少人数やレベル別クラス編成で密度の高い授業を行います。

ICU高校の学びの主人公は生徒です。本校では、生徒が自発的に生き生きと学び、のびのびと活動できる校風を大切にしています。生涯にわたり学びを追究することを楽しむ人生を歩んでほしいと願います。

Our mission is to discover and develop the talents and abilities of each student. We aim to build an environment of academic excellence where students of various educational backgrounds can realize their potential to the full.

新しい出会いと創造

毎年世界約50カ国からの帰国生と日本全国からの国内生がICU高校で出会います。異なる文化のもとで生活してきた生徒たちが、それぞれの豊かな経験と知識を与え合い、共に学び合う教室で、新しい経験と価値観が共生する社会を創る者へと成長していくことをめざします。

狭い観念にとらわれず、自分が知らないことについて知ろうとする、また世界を複雑なまま立体的に捉える広い心と勇気を培うことを大切にします。

At ICUHS, returnees from about 50 countries and students from Japanese junior high schools study together. In this diverse community, we strive to create an environment where students exchange experiences, challenge perspectives, and develop an understanding of the world's complexity, fostering open-mindedness and the courage to embrace new ideas and values.

世界平和への貢献

第二次世界大戦直後、平和を願う人々の祈りのもと「世界平和に貢献する大学」として国際基督教大学(ICU)は献学されました。

大学と同じ理想をもつICU高校は、神の愛を受ける一人ひとりの人間の尊厳を知り、特により苦難を強いられている人々の隣人となる勇気を持つ人、人権を尊重する社会を形成し、キリストがひらいた平和をこの世界で実現するために貢献する人として、卒業生をこの世界へと送り出します。

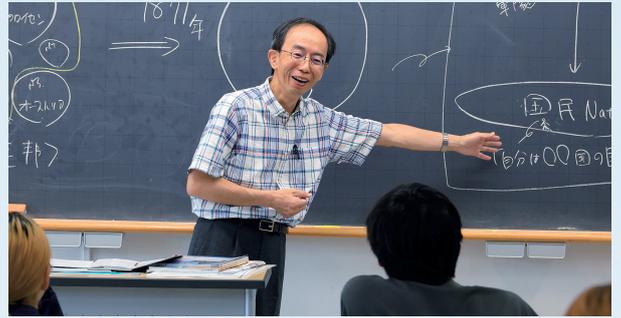
ICU was established after the Second World War with the hopes and ideals of people praying for world peace. We seek to nurture graduates who recognize the dignity of every person, who have the courage to stand with those who suffer, who help build a society that respects human rights, and who contribute to world peace.

ICU高校をつくる。

ことばを尽くして…

国語科教諭

ICU高校には「伝えたい」があふれています。休み時間も友人や教員と対話を重ねる生徒を多く見かけます。その時間は、新たな見方を得たり、考えを深める好機です。また、国語科の入試では文章と対話する力が試されます。これは入学後も様々な場面で求められる力です。入試を乗り越え、共に語り合える日を楽しみにしています。



地歴公民科で拓く未来

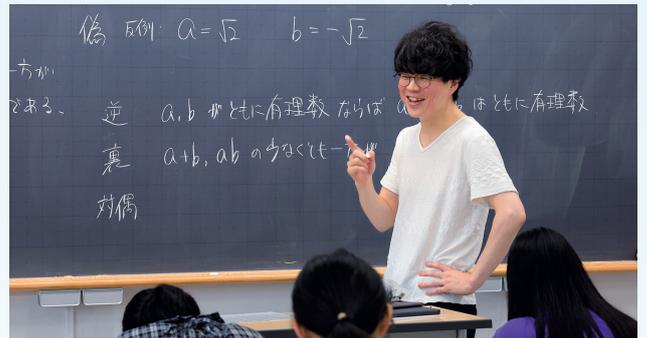
地歴公民科教諭

地歴公民科では、社会の成り立ちから現代の諸課題、地域の特色や世界のつながりまでを総合的に学びます。生徒みずからが主体的に学び、興味を持ったテーマを深め、プレゼンテーションやディベートなどを通して思考力と判断力を磨いています。

「なぜ？」から始まる楽しい時間

数学科教諭

わたしたちは、みなさんが発する小さな「なぜ？」を大切にします。授業中に気になることがあったら、声に出して聞いてみよう。その声が、きっと楽しい数学の扉を開くはず。みんなで一緒にたくさん議論して、楽しく、深く、「考える力」を身につけましょう。



実験を通して楽しく学ぶ理科

理科教諭

理科の授業では、様々な実験を通して自然界の現象を学び、思考力を高めます。生徒は疑問に思った事を率直に質問し、互いに意見を発することで学びを深める傾向があります。ぜひ、ICU高校に入学し、物理・化学・生物・地学を楽しく学ぶ仲間になってください。



違うからこそ面白い、と学べる日常を

外国語科教諭

本校には、一人一人大きく異なる経験や文化的背景を持つ生徒・教職員が世界中から集まっています。考えや立場の違う相手と対話する難しさと、違うからこそ生まれる発見や、通じ合う喜びを、日々の学校生活の中で体験的に学び取ることができる言語学習を目指しています。

Q.ICU高校で芽生えたあなた



A. 自律的に取り組めるようになった



A. 「自由には責任が伴う」ことを実感



自由な校風や、海外で培った英語力を伸ばせるような環境を求めてICU高校に入学しました。春学期は1泊2日のリトリート(1年)や校外学習(2年)があり、秋学期の体育祭や文化祭が楽しいのはもちろん、ハロウィンでは生徒が仮装して授業を受けたり、クリスマスのキャロリングなど、一年中楽しい行事がたくさんあって驚きました。特に2年時の体育祭では約半年間様々なこと(競技やテーマなど)を話し合い、実行委員と一緒に頑張ったことが一番の思い出です。授業は中学校の時に比べて自主性が問われることが多くなったと思いますが、スケジュールを立てて取り組めるようになり、自分から勉強する習慣ができました。

アメリカ、イギリスからの
帰国生



生まれ育った場所から離れて新しい環境で学びたいと中学生の頃から決めていました。寮の存在や、好きだった英語や国語を活かせそうと思いICU高校を選びました。生徒の「やってみよう」という気持ちに対して、先生方がとても協力的で、有志団体を立ち上げたり、生徒会活動がしっかり機能していたりと、自分たちで学校を作っている感覚があります。多様なバックグラウンドを持つ人と関わることで、初対面の人とも臆せず話せるようになりました。完璧を求めすぎず、「とりあえずやってみよう」と思えるようになったのも大きな変化です。

一般
(国内生)



2025年3月卒業生アンケート

ICU高校には他の学校にはない
特色がある **96.3%**

※2025年3月卒業生アンケートで
「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒の割合

国内生と帰国生がお互いに
良い影響を与えあっている **94.0%**

※2025年3月卒業生アンケートで
「そう思う」「ややそう思う」と答えた生徒の割合

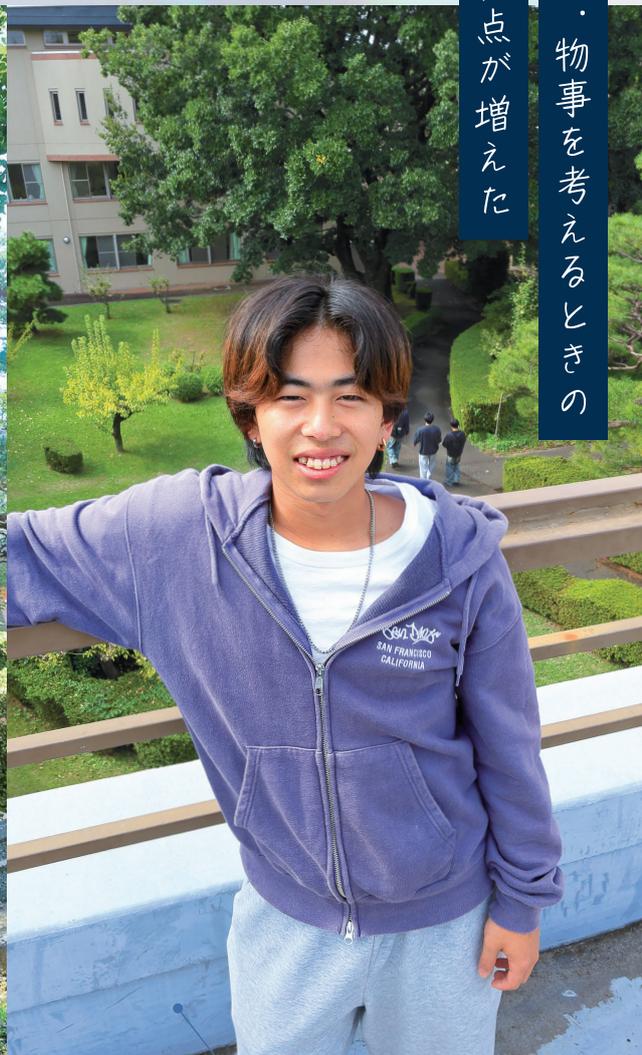
の可能性は？

A. いろいろなチャンスがある



持てるようになった

A. 日本語力に自信を



視点が増えた

A. 物事を考えるときの

自由な校風や英語力が高められそうだなと思ってICU高校に進学しました。入学して驚いたことは本当にいたるところで英語が飛び交っているの、英語に触れる機会がとでも増えたことです。授業を通して英語で思考する力が得られたことも大きいです。多くの人と協力して成功を収めることができた後夜祭など、自分の特技や趣味を発表できる場があることで、物事に挑戦する勇気がめばえました。

一般
(国内生)



海外生活が長かった自分を受け入れてくれると思ってICU高校に決めました。全力で取り組んだ部活(部員は私にとって家族のようなかけがえのない存在です!)や友達と雪遊びをしたスキー教室など、楽しい思い出がたくさんできました。入学前は日本語での授業に不安がありましたが、日本語のサポートが充実していて、レベル別の授業が多いため、自分にあったペースで学ぶことができ、日本語力に自信を持てるようになりました。

シンガポール、アメリカ、
インドネシアからの
帰国生



チェコやシンガポール、カナダに在留していたから英語を継続して学べる環境にひかれてICU高校を選びました。世界中のいろいろなところからかき集められた生徒たちが共に学校生活を送っているから、とにかくおもしろい学校生活です。ICU高校ならではのプログラムだと思うカンボジアスタディツアーや生徒が主体となる様々なイベント、自分のペースで学べる授業等、生徒の自主性を重んじる学校だからこそ自分で考える力が身につきました。

チェコ、シンガポール、
カナダからの
帰国生



世界から、そして世界へ。

Europe
78人

英国	21	ロシア	5	スロベニア	1
ドイツ	16	スイス	4	チェコ	1
フランス	11	イタリア	2	フィンランド	1
トルコ	6	スウェーデン	2	ポーランド	1
ベルギー	5	スペイン	1	ルーマニア	1

Asia
169人

タイ	36
中国	27
シンガポール	23
台湾	12
ベトナム	12
香港	12
インド	10
マレーシア	10
大韓民国	9
インドネシア	5
フィリピン	5
ミャンマー	3
ウズベキスタン	1
カンボジア	1
スリランカ	1
モルディブ	1
モンゴル	1

Japan
248人
日本 248

Middle East
10人

アラブ首長国連邦	6
イスラエル	2
クウェート	1
ヨルダン	1

Africa
5人

コートジボワール	1
コンゴ	1
ジンバブエ	1
赤道ギニア	1
南アフリカ	1

Oceania
10人
オーストラリア 7
グアム 2
ニュージーランド 1

35歳の卒業生は今

- 01 村田 周平
国内生
- 02 戸上 絵理
帰国生
- 03 川村 良
国内生
- 04 バスマジエ(桑野) 詩織
帰国生
- 05 李 潤世
国内生
- 06 荘司 洋平
帰国生
- 07 森田 早貴
国内生

01 村田 周平

映像ディレクター



驚きと発見の日々を経て 人との出会いが楽しみに



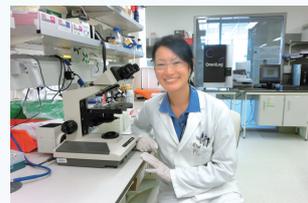
「こんなに現場の『全員』ときちんと話す監督は初めてです」。これは近頃、CMなどの制作現場でクライアントや制作スタッフから立て続けにかけられた言葉です。私はどんな現場でも、役職や所属に関係なく必ず全員と話し、意見やアイデアを引き出すよう努めています。他人は絶対に自分にないものを持っているからです。そしてそう信じさせてくれたのが、ICU高校での経験です。学友たちは本当に多様で、誰と話しても驚きと発見がありました。見た目やグループで相手をジャッジする文化がないのでとにかく毎日が楽しく、こんな環境は他にはないと思います。ICU高校で身についた感覚のおかげで、この先に待つ多くの出会いも楽しみでした。ありがとうございました。

02 戸上 絵理

世界保健機関 (WHO) 本部
獣医師



獣医師として新型コロナ ウイルス感染症対策に従事



現在は人と動物の感染症を専門とする獣医師として、WHOで新型コロナウィルスの感染症対策に携わっています。国際社会で仕事をする上では世界の人の多様性に慣れる一方、日本人としてのアイデンティティを確立することが望ましく、英語で模擬国連のディベートをしたり、現代文や古文を含めしっかりと日本教育を受けたICU高校での経験が私の基盤となっています。またダンス部の活動にも没頭して達成感を味わうなど、ICU高校は帰国子女の私にとって、ありのままの自分で良い、個性的なのは長所だ、と自信をくれた大切な居場所でした。楽しく刺激的な高校生活を送れるだけでなく、将来の夢への最高の通過点としてもICU高校を自信を持ってお勧めします。

03 川村 良

外資系IT企業勤務



個性豊かな同級生たちと 過ごした日々が財産



ICU高校の魅力は個性的な同級生です。異なる環境で育ち、さまざまなバックグラウンドや価値観を持つ同級生たちとの学校生活により、それまでの自分の狭い見識や、英語力への密かな自信は軽々と打ち砕かれました。視野を広げ、自分が本当に大切に思うものは何かを振り返る、とてもいい機会でした。現在は外資系IT企業で働いています。仕事では、自分の意見を主張する同僚とディスカッションするほか、猛スピードで開発され、過去の常識を打ち破るような製品の知識を把握していることが求められます。個性的な同級生たちと過ごし、これまで知らなかったことをたくさん吸収できた高校時代の経験は、今の仕事を行うなかでも大きな財産になっています。



【 在校生の入学前の在留国・地域
全53カ国 (国内生を含む) 】

Total
726人

帰国生478人 国内生248人
(2025年10月現在)



North America
187人

米国 177
カナダ 10

Latin America
19人

ブラジル 8
メキシコ 5
チリ 3
ケイマン諸島 1
コロンビア 1
トリニダード・トバゴ 1

04 バスマジエ(桑野)詩織

外資系消費財メーカー
人事部勤務



グローバルスタンダードの
学風により世界へ



中学3年生でカナダから帰国した頃は、どんな成果を出しても「帰国子女だから」と言われ、自分のアイデンティティを見失っていました。そこで選んだICU高校では、世界中から集まった多様な高校生がお互いを認め、補完し合っています。先生方も生徒と正面から向き合い、ありのままを尊重してくださいました。

私は今、人事として働き、「Let Your Colours Shine」をスローガンに、一人ひとりの個性がもっと社会で輝くよう、新たな採用スキームの導入やダイバーシティの制度改革に取り組んでいます。ベースにあるのは「自分らしく生きることが、最大限のパフォーマンスにつながる」という思いです。そのことを学んだICU高校で、「私」を取り戻すことができました。

05 李 潤世

スポーツマーケティング
会社勤務



海外スポーツの架け橋として、
高校時代に培った国際感覚を発揮



ICU高校は、想像をはるかに超える「変わり者たちの巣窟」でした。生徒たちは旺盛な好奇心から異なる知識や価値観を持ち寄って、最高に楽しい場所を創りあげています。当たり前にも尊重されるので、いま声高に叫ばれている「ダイバーシティ」や「グローバルコミュニケーション」の意識や能力は、高校時代に自然に身についたと感じています。現在は、ICU高校で培った国際感覚を生かし、主にスポーツマーケティングの領域で海外のトップアスリートや団体、企業との交渉を担当しています。仕事のステップアップとしては、世界中のスポーツイベントの現場に行くことが目標のひとつ。海外に活躍の場をどんどん広げていきたいと張り切っています。

06 荘司 洋平

コンサルタント



多様性に満ちるニューヨークで、
コンサルタントとして活躍



ICU高校では、ユニークな世界観を持つ個性豊かなクラスメイトと親友になる過程を通じて、「他人と違っていてもいい」「自分らしくやればいい」と思うようになりました。自分のアイデンティティをしっかりと形成できた時間だと感じています。高校卒業後はアメリカのプリンストン大学に進学。帰国後は外資系金融企業を経て、再びアメリカのペンシルバニア大学ウォートン校でMBAを修得し、今はニューヨークでコンサルタントとして働いています。仕事でもプライベートでも世界中から集まる多種多様な考えを持つ人々と交流する日々において、ICU高校で身につけた柔軟で偏見のないアイデンティティと感性は、かけがえのない財産として活かしていると思います。

07 森田 早貴

総合商社勤務



人生の岐路でいつも
背中を押してくれる仲間



自由な校風の下でのびのびと楽しく過ごしたICU高校の3年間では、中学生の頃から抱いていた「発展途上国のために働く」という夢を確かな目標に育てるとともに、私のアイデンティティを認めてサポートしてくれる、かけがえのない友人を得ることができました。高校を休学してアメリカに1年間留学した時、大学院に進学して国際政治を専攻した時、そして今の会社に就職した時。人生の岐路ではいつも、ICU高校で得た友人や先生たちが背中を押してくれました。勤務する総合商社ではエネルギーに関わる仕事に就き、天然ガスを通して人々の生活や産業、ひいては国の発展を支えています。いずれは発展途上国に貢献できるよう目標を追いかけ続けています。

学習から学問へ。生涯知に向かい、 学びつづける人となる力を育てます。

Global Learning Programs

ICU高校は2014年度にスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定されたことを機にGlobal Learning Programsを展開しています。

国内・海外のスタディツアー、学内でのワークショップや講演会を、教員だけでなく生徒の発案によっても開催しています。2025年度は、ベトナム、カンボジア、京都、瀬戸内(広島とハンセン病療養所)、アジア学院、GLBC各ツアーと、20ほどのワークショップや通年での農業体験を開催し、11月のLEAP!(発表会)で学びを共有しました。

■ICU高校の持っているグローバルなネットワークを存分に生かし、オンラインでも日常的に、海外の学校や現地の方々、世界の最前線で活躍する多数の卒業生にも直接つながって学びます。

■海外の紛争地域にある方々との交流や、支援活動をしている方々との勉強会、近隣農家の方々との交流と体験、大学や企業研究者の方々を招いたり、訪問したりしてのワークショップなども行っています。



Global Leadership Boot Camp (GLBC)



カンボジアスタディツアー

Check!



Check!

日英両語で「書く力」、
「読む力」を身につけます。



ライティングセンター

ライティングセンターは書くプロセスを支援する場所。アメリカの大学では一般的ですが、日本の高校としては初の試みとして2010年にスタートしました。ここでは、いわゆる「添削」は行いません。大学生や大学院生チューターとの対話を通して自分は何を書きたいか、どうしたらよくなるか、生徒自身が気づくことを目指します。相談に持ち込まれる文章はレポート課題をはじめスピーチの原稿、大学の志望理由書、自作の小説など多種多様です。また図書館と連携して書くことを仕事とする方々を招いて講演会を開いたり、将来についての希望を掘り下げるイベントも企画しています。2012年からは日本語だけではなく、英語によるセッションも行っています。教科の枠を超えて生徒の書く力を育てます。



主体的・探究的な学び



図書館での学びあい

ICU高校では、生徒が主体となる学びの機会を数多く用意しています。下表にあるようなさまざまな課題

を通して、実験・観察や見学、グループ・プレゼンテーションや討論、またリサーチやレポート作成など、生徒が実際に体感し、クラスメイトと共に考え分ち合い、主体的に学ぶ機会を授業の中で積極的に設けています。生徒たちは学校図書館やオンラインデータベースなどを活用して、こうした課題に取り組みます。ノートPC (BYOD) を携帯駆使して情報リテラシーを高め、取り入れ、活用しています。授業中は活発に質問し、放課後も、教科研究室を訪れて授業での疑問点を問うところも、本校の日常的な風景のひとつです。

学校が統一プログラムを多く提供するのはなく、生徒それぞれの学びを深めるためのヒントとサポートを随所に設けているのがICU高校です。



食堂の残菜から土をつくり、育て、そして調理しおいしくいただく

主体的・探究的な学びの取り組み (例)

第1学年		第2学年		第3学年	
英語	Drama Global Issues Presentation Project Collaborative International Video Exchange 「自分が境目を感じた経験」エッセイ 「広告批評」「映画批評」分析レポート 古典マンガの作成	英語	Drama / Research Video and Teaching Unit Google Slides Presentation World Heritage and Disasters	英語	Drama/The Globe Cinema : film making
国語	「自分が境目を感じた経験」エッセイ 「広告批評」「映画批評」分析レポート 古典マンガの作成 ショートストーリー創作	国語	「山月記」を論じる / 戦争体験聞き書き 理論的に分析する / 書評執筆	国語	「新古今和歌集」の和訳の研究
歴史	コロムブス/ナポレオンに関するロールプレイ 帝国主義に関するプレゼンテーション	世界史	映画「アラジン」の時代・地域の考察レポート	世界史	戦争をなくすための9つの方法ディスカッション
数学	途中経過の答案を比較する演習課題 野外交渉観察と野草の天ぶら	日本史	ICUキャンパスなどの戦前の軍事関連施設フィールドワーク ハザードマップを用いた地域調査	日本史	史料、絵画資料をめぐるディスカッション
理科	「DNA抽出」「腎臓・脳」発露実験・観察・レポート 「グループチャレンジ」物理のお題に挑戦 中和滴定の実験とレポートおよび結果の討論	地理	グループ・プレゼンテーションとディベート、スパイダー討論 哲学対話：サイレント・ダイアログ	政治	政治・経済に関する新聞投稿 基本的人権に関する判例レポート / 貿易ゲーム
保健	心臓蘇生法の実習 / 健康の定義についてのディスカッション	公共	グループ・プレゼンテーションとディベート、スパイダー討論 哲学対話：サイレント・ダイアログ	経済	国政選挙ロールプレイ・ディスカッション・模擬投票
体育	ハードル走での動作分析 / ニュースポーツの考案	数学	数学ツアー	数学	数学ツアー / 極限について考えるゼミ ICU高校の入試問題を解説するゼミ
キリスト教	旧約聖書「出エジプト記」に描かれているイスラエルの民の歴史をもとに、「奴隷の解放」と「自由」についての考察 グループによるAI・データサイエンスに関する探究活動	物理	「気柱の共鳴」「光の干渉」「摩擦力」実験とレポート 「ヘスの法則を利用した反応エンタルピーの測定」の実験とレポート、結果の討論	物理	「大学入試問題の実験、実際にやってみる」 ま・も〜れ水(エッグドロップ実験)
情報I	実社会データを用いたマーケティングリサーチ実践	化学	「絶滅危惧種と環境問題」レポート	化学	英語の実験書を用いた「化学反応の速度」についての実験学習とレポート 「染料と繊維の合成実験」 大学入試問題についてのグループプレゼンテーションのゼミ
		生物	「000と健康」レポート / ブラインドウォーク体験 / 受診ロールプレイ 臓器提供や遺伝子治療など生命倫理の問題に関する考察	芸術III	岩絵の具を用いて日本画を描く
		保健	「000と健康」レポート / ブラインドウォーク体験 / 受診ロールプレイ 臓器提供や遺伝子治療など生命倫理の問題に関する考察	体育	ビデオ分析を利用した課題解決
		キリスト教	余命宣告を受けた人々の最後の日々についてのドキュメンタリー視聴と、死の受容についての考察	キリスト教	日常生活とキリスト教についての考察
				情報II	ビッグデータを活用した社会課題の分析

Learning at ICUHS

*ICU高校は日本国の学校教育法に基づく全日制普通科の高等学校です。外国語科を除き、授業は原則として日本語で行います。そのため、生徒の日本語運用能力に寄り添って授業をし、日本語での学習の困難を支える体制を学校はつくっています。ひとりひとりの日本語力と困難のポイントを全教科で共有し、担当教員や学級担任が連携します。

少人数レベル別授業

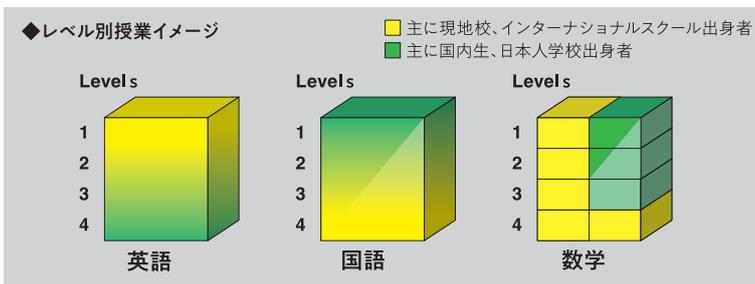
ICU高校では、全校生徒数730名に対し教員数は95名(2025年10月現在 非常勤を含む)、生徒対教員比は7.7:1と、きめ細かな対応を可能とする体制を整えています。

各学年とも定員40名の6ホームルームに帰国生と国内生と一緒に所属し、共にキリスト教・家庭・情報などの授業を学びますが、英語・国語・

数学の授業は下図のように生徒の力や多様な学習歴に応じたレベル別少人数クラスで行い、生徒は自分の力に合ったレベルで無理なく学習します(レベル別クラス分けは入学前のプレースメントテストで決めた後、各学期末または定期試験ごとに移動します)。また地歴公民・理科・体育・芸術の授業は、進路や関心に応じた分野別

の少人数クラスで行います。

2025年度第2学期の開講数は428クラス、1クラスあたりの平均履修者数は21.2名です。少人数教育は高コストを伴いますが、多様な教育背景を持つ帰国生の受け入れ校としては欠くことのできないしくみであり、その教室の中でこそその学びあいと学力の伸長ができていますと本校は考えています。



多彩なカリキュラム

ICU高校生の進路選択は、難関国公・私立大学から海外大学、分野も医薬・理工系から芸術系までと多岐にわたります。ICU高校では、そうした生徒のさまざまな必要に応える多彩なカリキュラムを用意しています。また3年生を対象に

「自由研究講座」を開講し、大学での学習へつながる導入教育も行っています。創立以来ICU高校は、少人数による主体的・探究的な学びを通して、これからの社会で求められる「考える力」を大学に先取りして教育してきました。学

習指導要領に依りつつ、人生の土台となる確かな知識・技能に加え、未来を切り拓く思考力や表現力を養い、よりよい世界の実現のために共に力を尽くす心を育むカリキュラムとしています。

2026年度 入学生カリキュラム

第1学年 Grade 10		第2学年 Grade 11		第3学年 Grade 12	
科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
ホームルーム	1	ホームルーム	1	ホームルーム	1
総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1	総合的な探究の時間	1
キリスト教概論	1	キリスト教概論	1	キリスト教概論	1
現代の国語, 言語文化	6	文学国語	4	政治・経済	2
歴史総合	2	公共, 地理総合	2	体育	2
数学I, 数学A	5	数学II	4	英語コミュニケーションIII, 論理・表現III	6
化学基礎, 科学と人間生活	4	保健, 体育	3	生物基礎演習共通テスト/物理基礎演習共通テスト 地学基礎演習共通テスト/化学基礎演習共通テスト 体育(選択体育)/理数探究基礎	1
保健, 体育	4	家庭基礎	2	国語演習(漢文)/選択英語②/世界史演習②/日本史演習②/小論文演習/選択英語③/地理探究/倫理(公民演習)/国語演習/情報III/上級第二外国語/初級第二外国語/芸術III/選択英語④	2
英語コミュニケーションI, 論理・表現I	6	英語コミュニケーションII, 論理・表現II	6	論理国語/国語表現/世界史演習①/日本史演習①/古典探究/SL生物/数学C/数学C(数学演習)	3
情報I	2	理科基礎/地学基礎/物理基礎/生物基礎	3	化学	4
芸術I(音楽・美術・書道) ※1科目を必修選択	2	化学/世界史探究/日本史探究	3	数学III/物理/生物	5
上級第二外国語【仏・独・西・中】 ※希望者がいる場合開講	2	古典演習/日本語演習/数学B/ 選択英語/芸術II(音楽・美術・書道)/ 基礎第二外国語 など ※人数等により開講されないこともあります。	2	上級第二外国語【仏・独・西・中】 ※希望者がいる場合開講	2
		自由研究講座	1~2		

クロスプロジェクト

ICU高校は、「総合的な探究の時間」をクロスプロジェクトと銘打ち、教科・学年を越えて自分の探究を深めていくプログラムを作りました。2025年度は「NHK番組「おおかさんといっしょ」から見る時代背景」「タンザニアで見た医療と衛生の課題」「推し活と宗教」など、多彩なテーマで個人やグループでの探究と発表がなされました。自身の探究課題を見出し、学ぶ技術を駆使し、様々な興味関心・背景を持つICU生との対話によってお互いの学びを深め合う。このような学び合いの形は、ICU高校の伝統と言えるものです。



自由研究講座 本校ならではの授業のひとつ。3年生に向けて開講しています。

講座一覧(例)「映像で見る世界の今」「ことば学」「数学の論理」「高校数学特論」「実験化学」「ヒロシマの記憶を読む」「近代文語文を読む」「課題探究講座」

学びのためのリテラシーを高め、多分野の学びを自身の知に総合し、知を深め、発信・共有してゆくためのカリキュラムとなっています。

各教科の授業内容



外国語 **さまざまなアプローチを通して総合的な英語力を鍛え、伸ばします。**

自然な会話から正確な文法、アカデミック・ライティング、芸術性の高い文学や演劇まで学びます。多様な背景を持つ生徒それぞれに合った英語レベルでの課題に取り組めます。

1年生は全レベル週6時間 オールイングリッシュ

英語圏からの帰国生向けのクラスは、英語圏の現地の授業に相当する内容です。各レベルに応じた多様な文学作品をじっくり読み、ディスカッションを通して分析し、プレゼンテーションやエッセイの形にまとめます。作品に対する多様な解釈をクラスメイトと共有し、背景にある文化や時代・登場人物への理解を深める中で他者を理解する力も養います。

一般（国内）生や非英語圏からの帰国生向けのクラスは、外国語としての英語（EFL）を学びます。主に多読と速読、リスニング、スピーキング、グループ・プレゼンテーション、基礎的なアカデミック・ライティングを含む学習内容です。中学校で身につけた英語に磨きをかけ、一つ一つの能力をより高いレベルへと引き上げることを目標とします。

1年生の6コマの授業は全て英語で行われます。一切日本語を使わず英語を使う環境に慣れ、あらゆるトピックについて英語で学ぶ機会を設けています。

加えて、海外生活を経て身につけた言語力にさらに磨きをかけるために、英文の構成やライティングスキルの学習を通じ、英語への理解をさらに深めていきます。これらはワークショップ形式で行われる授業で扱われるため、文法用語に馴染みのない生徒も様々なタスクに能動的に取り組むことで自然に学ぶことができます。

AP English Literature and Composition

ICU High School has been given authorization by College Board to offer AP English Literature and Composition as one of its English courses. AP English Literature and Composition is open to students from Levels 1-2 and is held 5 hours per week in the 2nd Year. Students are screened by the English teachers before being admitted on to the course, which is conducted entirely in English. Classes focus on a selection of novels, plays, short stories and poetry from around the world. This is a challenging and demanding course designed for students who enjoy reading and discussing such literary works.

2年生から内外の大学進学を見据えた指導へ

2年生からは文学やEFLの授業に加え、英文法や読解問題などを扱う授業が始まり、上級のレベルの生徒は主に日本語による授業とすべて英語による授業のいずれかを選択します。日本語を使う授業では、全てのレベルにおいて英語をより正確に理解し、自分の考えを的確に表現するスキルを身につけます。母語である日本語を通して言葉のニュアンスや正確さについてしっかり学ぶことを大切にし、大学受験やそれ以降の英語学習を見据えて、より高度な英文法の知識を活用できるように指導しています。上級レベルで選択できる英語による授業では、海外大や一部の国内大受験の際に必要なSATなどの問題演習やアカデミックライティングのスキルを伸ばす指導を行います。2年生と3年生ではOral Expressions, Debate, Media, International Perspectivesなど、本校ならではの様々な選択科目があります。大学受験のみならず、グローバルな世界への理解を深める授業が開講されており、生徒は各自の関心と目的に合わせて選択します。

第二外国語：上級と基礎・初級

第二外国語としてはフランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語の選択クラスがあります。各言語圏からの帰国生には高度な内容の「上級」クラスが全学年で、初心者には入門の「基礎」クラスが2年次に、「初級」クラスが3年次に開講されます。

*「基礎」・「初級」クラスは選択者の人数によっては開講されないことがあります。

外国語科英語原書副教材

1st Year

Level 1
The Nickel Boys / The Complete Maus / The Great Gatsby / Macbeth

Level 2
The Perks of Being a Wallflower / Never Let Me Go / Persepolis / The Crucible / Grammar Girl

Level 3
The Giver / The Pearl
NorthStar Listening & Speaking 4
English Grammar in Use
Grammar and Beyond 3

Level 4
NorthStar Listening & Speaking 1/
Grammar and Beyond Essentials Level 2 (L4 Advanced)
Frankenstein (Oxford Bookworms) NorthStar Listening & Speaking 1 / Grammar and Beyond Essentials Level 2 (L4 General)

2nd Year

Level 1
Beloved / The Handmaid's Tale / The Importance of Being Earnest / Antigone / The Tempest

Level 2
Animal Farm / Lord of the Flies

Level 3
Do Androids Dream of Electric Sheep? / Lord of the Flies

Level 4
The Body (Penguin Reader) /
NorthStar Listening & Speaking 2 (L4 Advanced)
NorthStar Listening and Speaking 2 (L4 General)

AP
The Complete Sonnets and Poems (The Oxford Shakespeare)

College Prep (Levels 3 & 4)
Reading Explorer 3

3rd Year

Level 1
Nineteen Eighty-Four / Doubt: A Parable
One Flew Over the Cuckoo's Nest: A Play in Two Acts

Level 2
Hour of the Star
The Thing Around Your Neck

Level 3
Tuck Everlasting / The Absolutely True Diary of a Part-Time Indian

Level 4
Animal Farm / NorthStar Listening & Speaking 3 (L4 Advanced)
Charlotte's Web / NorthStar Listening & Speaking 3 (L4 General)

Media Studies
The Shallows (Levels 1 & 2)

International Perspectives L3+L4
Land of My Childhood - Stories from South Asia

Interpreter Of Maladies: A Novel '19

College Reading
The Hobbit / Heroes

国語 **ことばと出会う。他者と出会う。**

共に読み、語り合うことで、世界を広げていくこと。それがことばの力だと考えています。

4~5段階のレベル別少人数クラス

海外生活が長く入学時には日本語に自信のない生徒、古典を初めて学習する生徒も、着実に力を伸ばせるような授業をしています。

国語の基本、現代文と古典

1年生で小説・詩などの文学作品・平易な評論文読解のほか作文技術の基礎を学習。

2年生でやや難しい評論文や文学作品の読解のほか、自分の考えを論理的に表現する技術を学びます。

また、1年生で古文および漢文の基本を学ぶことで古典に親しみます。2年生で古文の文法や古文常識、漢文の句法などを完成させ、古典作品の読解を深めます。

*文系の生徒は、より発展的な内容の「古典演習」も選択できます。

自分で考えながら読む力、書く力を伸ばす

3年次の国語はすべて選択科目となります。「論理国語」では、近代以降のさまざまな分野の文章を論理的に読み、「小論文演習」では小論文を書く力を養います。「古典探究」では、まとまった文章を読むことでこれまで学んだ文法の知識を定着させ、作品の理解を深めます。理系志望者のための「国語演習」もあります。

Learning at ICUHS

Check!



数学

答えを求めるだけでなく、求める過程に重きを置きます。

数学は『考える』学問です。『考える』こと楽しさ、知的な驚きや感動を大切にして、学問としての数学と格闘する姿勢を育てます。

1年生は生徒のバックグラウンドに応じたクラス分け

1年生の必修科目「数学Ⅰ・A」は、4つのレベルに分けて行います。レベルごとに設定された目標があり、関数や図形の基礎を確実に身につけることを目指すクラスから、高校数学の枠を超える内容を扱うクラスまで、幅広く用意されています。また、学期ごとにレベルの移動があるので、意欲のある生徒の学習のモチベーションを保つことができます。

2年生は希望に応じたコース制

2年生必修「数学Ⅱ」は、3つのコースに分けて行います。文系・理系・SATを用いる進路など、多様な志望にもとづいて選択することができます。本校では数学の定期試験は、90分または115分です。それは、答えを求めるだけでなく、そこに至る過程が大切である、と考えるからです。全クラスで自分の考えを筋道立てて論理的に書くよう指導しています。

3年生は進路に応じた選択制

3年生では、理系志望者は「数学Ⅲ」と「数学C」を履修します。文系志望者は「数学C(数学演習)」を選択し、大学入試に備えることができます。さらに余裕があれば、特別授業で高校数学の先にある世界にも触れることができます。

キリスト教

なぜ生きるのか。どのように生きるのか。
ICU 高校の精神的な柱であるキリスト教を知る。

われわれはどこから来たのか。われわれは何者か。われわれはどこへ行くのか。

週1時間、3年間にわたって行われる「キリスト教概論」の授業では、聖書の内容を捉え、また、内省・対話を通して、私たち人間、この世界、そして神の存在について考えます。また、他教科の授業とも連携し、キリスト教の視点から、多様な問題を多角的に、深く掘り下げ、私たちがどのように向き合うべきかを考えます。

3年間で学ぶ主なテーマ

- ◆ イエス・キリストの生涯
- ◆ 創世記と世界の始まり
- ◆ 祈り・洗礼・聖餐
- ◆ 性のあり方
- ◆ 富と貧困
- ◆ 偽善と心の中の「罪」
- ◆ イスラエルの歴史
- ◆ キリスト教は他の宗教をどう考えるか
- ◆ いのちの始まり
- ◆ 差別と偏見
- ◆ イエスのたとえ話
- ◆ 律法と十戒
- ◆ 信じることと疑うこと
- ◆ 科学と信仰
- ◆ 人間の価値とは
- ◆ 十字架の贖罪と救い
- ◆ 終末論
- ◆ 学歴・競争社会
- ◆ 死に向き合う
- ◆ キリストの復活
- ◆ 教会とは何か
- ◆ 本当の愛とは
- ◆ 自由と責任
- ◆ 平和を実現する



地理歴史・公民

時間と空間を補助線に、世界中から集まる仲間と共に学びを深めます。

私たちはなぜ「社会」を学ぶのか?

自分を見つめているだけでは自分はわかりません。周囲を見回してこそ自分がわかり、自分が他者に支えられた存在であることにも気づけます。遙かな時空の中で自分はどこに立ち、どこへ歩むか。平和のために粘り強く考え抜き、よりよき世界をめざして行動できる力を養います。

異文化体験を持つもの同士で学ぶ「社会科」の授業はICU高校独自です。

実際に当事国に住んでいた生徒たちの発言も交えた「地理」や「政経」、また異文化での違った視点を交換しながら進められる「歴史」や「公共」は、ICU高校ならではの貴重な学びです。「価値観のゆらぎ」を経験しましょう。

グローバル社会の課題に取り組むための基礎学習・課題研究を行います。

1年生の「歴史総合」では、近現代史を通じ今日の国際社会の成り立ちを学びます。2年生の「公共」では、グループに分かれてテーマの本質を探究したプレゼンテーションや、現代の諸課題に関するディベートを行います。3年生では、進路に応じた受験向けの演習授業も選択できます。京都、奈良をめぐる「歴史教室」も行っています。

理科

約20人の少人数授業で1授業1実験をめざし、
実験や観察を通して理論的な考察や自然への理解を深めます。

自然科学の楽しさを学ぶ〈物理・化学〉

物理では、一般的な物理現象を身近な道具を使って実験し、そこからわかる原理・法則について学ぶことで興味と理解を深めます。「自ら実験方法を考えて摩擦力について調べる」などの課題実験に取り組み、検証する楽しさにも触れながら、科学的思考力も磨かれます。化学では、身の回りの物質の構造や性質、化学反応と反応が起こるしくみを学習します。さまざまな実験

・観察を行いながら授業を展開し、実際に見たり触れたりすることを通して生徒たちの興味・関心を高め、化学現象を理解していきます。

自然科学のしくみや雄大さを知る〈生物・地学〉

生物では、動植物に実際に触れながら自然のしくみとその大切さを学びます。実験室での動植物の観察や実験はもちろん、広大なキャンパスにある緑豊かな自然を活用し、春には野草を摘んで天ぷらにしたり、秋

には木の実を集めて食べたりします。地学では、宇宙に浮かぶ一つの星である地球のことを科学的に学びます。実験や標本の観察で体感しながら、日本の特徴である地震・火山・気候のしくみを知り、防災や環境問題について考え、また宇宙における地球の位置を知ることで地球人としての教養を高めます。



保健体育

広いグラウンドと大きな体育館で、思い切り身体を動かします。

多くの種目を経験することで、 スポーツの楽しみを見つけられます。

1、2年生では、サッカー、バレーボール、ソフトボール、陸上競技をはじめとしたさまざまな種目を行います。3年生では、生涯スポーツの観点をより重視し、いくつかの種目から行いたいものを生徒自身が選択して学びます。授業は15人~25人の少人数で行うため、初

めて行う種目にも安心して参加することができます。体育では、一人ひとりの運動時間を十分に確保することと共に、ルールや戦術、スポーツの特性について考えを深める時間も大切にしています。授業を通して、スポーツの楽しさを多様な視点から感じてください。また、全学年の希望者を対象に、保健体育科主催の行事として「スキー教室」を行っています。

帰国生と国内生がともに学ぶ「保健」

講義やグループワーク、心肺蘇生法の実習などを通して、健康に関する理解を深め、自らの健康を管理していく力を育てます。過ごしてきた国や環境が違えば健康に対する考え方も異なります。「保健」ではレベルには分けずに、クラス全員で学ぶことでそれぞれの経験を共有します。

年間カレンダー

SCHOOL CALENDAR



4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
-------------	-----------	------------	------------	--------------	-----------------

- | | | | | | |
|--|--|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 入学式 ● 始業式 ● イースター礼拝 ● フレッシュマンリトリート (1年) ● 校外学習 (2年) ● 沖縄修学旅行 (3年) | <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒総会 ● 避難訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ● キリスト教週間 ● ペンテコステ礼拝 ● マルチイベント ● キリスト教講演会 ● 教育実習 ● 学寮避難訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ● 終業式 ● スタディツアー | <ul style="list-style-type: none"> ● クラブ合宿 ● スタディツアー ● サマースクール (9月生) | <ul style="list-style-type: none"> ● 9月生編入学式・始業式 ● 学校祭 ● 体育祭 ● 避難訓練 |
|--|--|--|--|---|---|

Student's Voice



ICU高校の学校祭は、自由で個性豊かな生徒たちが力を合わせ、企画の完成を目指して創り上げています。多様なバックグラウンドを持つ生徒が集まる学校だからこそ、ここでしか見られないような企画もたくさんあり、ICU高校らしさが存分に発揮されています。毎年、形を変えて進化する学校祭は、実行委員会を中心に生徒たちが一から創り上げるものです。時には先生方の力を借りながら、最高の2日間にするために全力で取り組みます。私は今年度、実行委員長に挑戦しました。正解がない中で試行錯誤を重ね、自分たちの思いが形になっていくその過程は一生忘れられない思い出となりました。皆さんもぜひ、ICU高校で最高の仲間と環境に出会い、自分だけの青春の1ページを描いてみませんか？

学校祭実行委員長



10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
----------------	-----------------	-----------------	---------------	----------------	-------------

- | | | | | | |
|---|---|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 校内模擬試験 ● 校外学習 ● 科目選択説明会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 生徒総会 ● GLP LEAP! (学習発表会) ● キリスト教講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ● クリスマス礼拝 (終業式) ● キャンدلライト礼拝 ● キャロリング | <ul style="list-style-type: none"> ● 新年集会 (始業式) ● SGH記念講演会 ● キリスト教講演会 | <ul style="list-style-type: none"> ● クロスプロジェクト発表会 | <ul style="list-style-type: none"> ● 卒業式 ● 終業式 ● スキー教室 ● プレイメントテスト (4月新入生) |
|---|---|---|--|--|--|



Student's Voice

学寮 (二人部屋です)



寮生活を通して得られる知識や経験は数えきれないほどあり、その一つ一つが一生の宝物です。中でも最大の魅力は寮生同士の絆です。約三年間、親元から離れて日々を共に過ごす仲間たちは第二の家族のような存在になります。また、毎朝夕の食事は美味しく、栄養バランスも良く、献立も豊富で日々の楽しみの一つです！さらに、学習環境も整っており、学習室やソーシャル、キッチンなど気分にあわせて勉強場所を選べます。しかし、楽しい寮生活でも、時には悩むこともあります。そんな時は周りに常に見守り、支えてくれる寮父母さんやアドバイザーの先生など頼れる人がたくさんいるので安心です。ICUHSならではの素敵な寮生活を送って欲しいです。

第一女子寮寮長



Campus Life

クラブ活動

CLUB ACTIVITIES

Check!



運動部 SPORTS

(2025年度現在)

男子バスケットボール部	チアリーディング部
女子バスケットボール部	ダンス部
男子テニス部	野球部 (硬式)
女子テニス部	陸上部
男子サッカー部	バレーボール部
女子サッカー部	ハンドボール部
バドミントン部	水泳部

文化部 CULTURE

演劇部	器楽部
コーラス部	オーケストラ部
ロック部	茶道部
写真部	模擬国連同好会



Student's Voice



ICUHSの女子テニス部は週3 (月・水・木)で活動しています。初心者も経験者も所属しており、基礎練習から、公式戦に向けて実際の試合形式でも練習をしています。どんなレベルの生徒でもテニスを楽しめます！練習は集中して取り組み、楽しむ時は思いっきり楽しむメリハリをつけて行っています。球出しを順番にするなど、基本的にみんなで協力しながら進めています。お互いに声掛けをし、和気あいとした雰囲気です！みんな優しく、とても明るいです。部活の終わりには女子テニス部ならではの、先輩から受け継ぐ可愛い掛け声があります！テニス部に少しでも興味を持ってくれた人はぜひ来てください。いつでも大歓迎です！

女子テニス部



SCHOOL DAY ICU高校生の1日

8:30 ころ
登校



8:50
朝のホームルーム



9:00
午前の授業



12:50
昼休み



13:40
午後の授業



15:30
帰りのホームルーム



15:50
放課後



18:00
下校 (10~3月は17:40)



快適なキャンパスライフを支える設備が整っています。

Check!



1 体育館 Gymnasium

バスケットコート2面分の汎用コート、屋内ランニングコース、トレーニング室のほか、屋上には多目的コートを完備しています。



2 グラウンド Athletic Fields

野球場、陸上トラック、サッカー場、ハンドボールコート、テニスコートがあり、全競技を同時に行うことができます。

↑ 至 新小金井駅
東小金井駅



4 多目的教室 Multi-purpose Hall

260人収容の講堂。講演会・イベントはもちろん、ダンスなどの部活動でも大活躍。



W棟（1996年竣工）の大規模改修を行います。2027年度から生徒の学びを力強く支える空間として、W棟がよみがえります。

全校舎 Wi-Fi完備

生徒一人ひとりが学校のアカウントを持ち、ノート型PCやスマホで学校のどこからでもインターネットへ接続できるクラウドサービスを活用した学びを可能としています。



- 1 体育館
- 2 グラウンド
- 3 図書館
- 4 多目的教室
- 5 中庭
- 6 普通教室
- 7 自習室・生徒ラウンジ
- 8 食堂
- 9 学寮

3 図書館 Library

授業や講演会を行うなど、読書の場を超えて学習情報センターとして進化し続ける図書館。和洋書3万冊超を所蔵し、データベースも自由に使えます。



5 中庭 Inner Court

3つの校舎棟に囲まれたのどかな中庭です。休息はもちろん、学校祭やハロウィンではイベントの会場にもなります。



6 普通教室 Classrooms

ホームルームのある普通教室



7 生徒ラウンジ Student Lounge

グループ学習や歓談はもちろん、マルチイベントや講演会、学習発表会にも利用できる生徒ラウンジと、個人の勉強に集中できる自習室があります。



7 自習室 Study Room



8 食堂 Cafeteria

320人収容。ボリューム満点の昼食はもちろん、寮生の朝夕食も提供しています。

Check!



大学現役合格率は90%。ICUをはじめ海外大学へも進みます。

ICU高校生の大学現役合格率は約90%。ほぼ全員が大学へ進学します。進学先のおおよその内訳は、1/3が指定校推薦(※)(定員80名)で隣接する国際基督教大学(ICU)教養学部へ、1/3が推薦・総合型選抜・帰国生・書類選考入試などで理系を含む有名私立大学また海外の大学へ、残り1/3が一般入試で国内大学へと進みます。ICU以外の指定校推薦(※)は、慶應義塾大学法学部・理工学部、早稲田大学基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部、上智大学総合グローバル学部、東京理科大学工学部・創域情報学部・先進工学部・経営学部ほか、約100の大学学部から得ています。

ICU高校生の進路選択は、難関国立大学の学力入試から面接や論文執筆を伴う推薦・総合型選抜また海外大学進学と、多岐にわたります。本校では生徒の多彩な要求に応え、生徒一人ひとりが納得のいく進路を選ぶよう、海外を含む大学説明会などの入試情報の提供、模擬試験や個別面談の実施、大学生生活や受験対策などを卒業生に聞く会、ネイティブ教員による海外大学への進路指導など、さまざまな機会を設けています。

※指定校推薦は2026年度入試時点のものです。

国公立大学 合格者数 (カッコ内:うち既卒生数)

大学名\入試年度	2025	2024	2023
●北海道	5(3)		2
●東北		2(1)	2
●筑波	4	1	3
●千葉	1		
●東京	4	3(2)	2
●東京外国語	3	2	2(2)
●東京科学(理工系)	1	1	1
●東京科学(医歯系)		1(1)	1
●東京学芸	1	1(1)	
●東京芸術			1(1)
●東京農工	3(1)	1	1
●一橋	1	2(1)	3
●横浜国立	1		1
●名古屋		1	
●京都	2		1
●大阪	3(1)		3
●国際教養		3	1(1)
●京都立	1	1	1
●横浜立	1	1	1(1)
●鳥取			1
●新潟		1(1)	
●浜松医科	1		1
●山形	1		
●名古屋市立	1		
合計	33(5)	24(7)	28(5)

私立大学 合格者数 (カッコ内:うち既卒生数)

大学名\入試年度	2025	2024	2023
●国際基督教	117	118(2)	108
●上智	45(3)	64(3)	50(3)
●慶應義塾	44	33(8)	29(7)
●早稲田	41(6)	37(7)	49(5)
●東京理科	32(8)	20	21(6)
●法政	31(1)	20(2)	16(1)
●明治	29(1)	15(5)	29(3)
●中央	28	14(1)	24(1)
●立教	21(2)	15(3)	15(2)
●青山学院	18(1)	19(1)	24(2)
●学習院	8	5	2(2)
●成蹊	6	5(1)	5(1)
●北里	3	3	2
●国際医療福祉	2	5(3)	2
●芝浦工業	4	2	5(2)
●立命館	7(2)	5	1
●同志社	6	7	1
●立命館アジア太平洋	2	1	0
●武蔵野美術	0	4(2)	6(5)
●多摩美術	3	5(1)	4(1)
●その他の大学	59(7)	41(6)	65(28)
合計	506(31)	438(45)	458(64)

※東京科学(理工系・医歯系)の2024年度以前はそれぞれ東京工業、東京医科歯科

※医学部は、2025:北海道1,山形1, 2024:東北2,浜松医科1,新潟1,横浜国立1, 2023:東北1,東京医科歯科1,浜松医科1,横浜市立1,

※歯学部は、2024:東京医科歯科1

2025年度入試 現役生進学先 (医療・理学・理工系大学学部) Medical Colleges・Departments of Science/Technology

ICU高校では1/3~1/4の生徒が理系の大学・学部に進学します。またICU教養学部でも自然科学を学ぶことができます。

理系進学者には英語力(論文読解、論文記述)が必要です。本校で英語力を磨くことにより、大学・大学院での研究を着実に進めることができます。

国立大学 National Universities

- 北海道 医
- 山形 医
- 筑波 理工
- 千葉 工
- 東京科学 工
- 大阪 工
- 京都 薬
- 東京 理科二類
- 東京農工 工、農

私立大学 Private Universities

- 学習院 理
- 慶應義塾 薬、理工
- 芝浦工業 システム理工
- 上智 理工
- 早稲田 先進理工、創造理工
- 東京理科 薬
- 星薬科 薬
- 北里 薬
- 明治 農
- 昭和 医
- 昭和薬科 薬
- 中央 理工 など

海外大学入試合格状況 (2019~2025年度) Foreign Universities

本校から直接海外の大学へ進学する人もいますが、大学在学中や卒業後に海外の大学や大学院へ留学する卒業生も大勢います。

- | | | | |
|---|---|---|--|
| Australia
Griffith University
James Cook University
Macquarie University
Queensland University of Technology
The University of Melbourne
The University of Queensland
The University of Sydney
The University of Western Australia
Belgium
KU Leuven
Canada
Camosun College
Carleton University
McGill University
Queen's University
Ryerson University
Simon Fraser University
The University of British Columbia
Trent University
University of Guelph-Humber
University of Ottawa
University of Toronto
University of Victoria
University of Western Ontario
Czech Republic
Charles University | Finland
University of Helsinki
Ireland
University College Dublin
Malaysia
Asia Pacific University of Technology & Innovation
Monash University Malaysia
Netherlands
Delft University of Technology
Erasmus University
Portugal
Conservatório Annarella
Singapore
Singapore Institute of Management
South Korea
Yonsei University
United Kingdom
King's College London
Kingston University London
Lancaster University
Newcastle University
The University of Manchester
University College London
University of Bath
University of Birmingham
University of Bristol
University of East Anglia | University of Exeter
University of London
University of the Arts London
United States
ArtCenter College of Design
Boston University
Brigham Young University-Idaho
Brown University
Bryant University
Carnegie Mellon University
Chapman University
Columbia University
Cornell University
Colorado State University
Dartmouth College
Denison University
DePaul University
Duke University
Earlham College
Emerson College
Franklin & Marshall College
Grinnell College
Guilford College
Hult International Business School
James Madison University
Kapiolani Community College
Knox College | Lake Forest College
Loyola University Chicago
North Carolina State University
Northwestern University
Oberlin College
Orange Coast College
Oregon State University
Rice University
Rutgers University
Savannah College of Art and Design
Skidmore College
SUNY ESF
Syracuse University
The College of Wooster
The Ohio State University
The State University of New York
The University of Maine
Union College
United States Military Academy
United States Naval Academy
University of California San Diego
University of Missouri
University of Pennsylvania
University of Rochester
Washington State University
Western Washington University
Yale University |
|---|---|---|--|

国際基督教大学(ICU) International Christian University

THE世界大学ランキング日本版2025「総合ランキング」
私立大学1位のICUと連携

ICU高校に隣接してキャンパスを構える国際基督教大学は、教養学部アーツ・サイエンス学科、一学部一学科のリベラルアーツ大学です。学生は文理にわたる31のメジャー(専修分野)の中から、2年次の終わりまでに自分のメジャーを決めます。2つの異なるメジャーを専攻する「ダブルメジャー」や主専攻と副専攻を組み合わせる「メ

ジャー、マイナー」も選べ、学生の積極的な学びへの挑戦を可能にします。教員1人あたりの学生数は16人。授業は少人数制で対話型が中心。日英両語を公用語とし、さまざまな背景を持った学生が個々の違いを尊重し高め合う環境があります。交換留学プログラムをはじめ、目的や期間に応じた多様な留学プログラムがあり、また学士と

修士の両学位を5年で取得できる「5年プログラム」も提供しています。ICU高校と大学の間では、学校推薦型選抜で合格した生徒が入学前にICU大学の授業を履修し単位取得できるなど、高大連携を深めています。

献学:1953年 学生数:2902名(学部)
教員数:176名(2025年10月1日現在)
交換/海外留学プログラム(41カ国・地域97大学)
就職志望者の就職率:91.1%(2024年度)

Check!



「トロイイニ記念アーツ・サイエンス館」で
出会う3つのストーリーを公開中





Check!

QRを読み込んで
入試情報ページを
ご確認ください。

入試の種類

帰国生徒入試

保護者の勤務に帯同され、継続して1年6か月以上海外に在留し、帰国後5年以内、という本校が定めた帰国生徒の資格を認定された人を対象とした試験です（日本国籍または特別永住者の資格を有する人が対象となります）。

一般入試

主に国内で教育を受けた人を対象とした試験です。英語、国語、数学の3教科の学力試験（各教科100点）に、中学校3年生の調査書点90点（9教科各10点）を加えた390点満点で審査します。

〈国際生徒枠〉

出願をご希望の方は、本校HPまたは募集要項をご覧の上、必ず事前にお問い合わせください。

9月編入学試験

本校の帰国生徒の資格を有する者で、海外の現地校・インターナショナルスクールから直接受験する人を対象とした試験です。募集人員は若干名の場合もありますが、毎年1年生、2年生の両方を募集しています。なお、一度日本の高校に入学すると受験資格を失いますので、ご注意ください。

学力試験の対策

各教科の試験時間は70分です。どの教科もしっかりとした読解力と思考力が問われます。

過去の入試問題が書店で販売されていますので、参考にされることをお勧めします。各教科の出題のねらいと学習アドバイスは下記の通りです。

英語

文法・語法・語彙・読解・作文などいくつかの分野にわたる総合的な英語力を測ります。中学校で通常学習する範囲を超えた語彙や文法などの知識は必要ありません。また、リスニングテストはありません。設問は文章の内容理解や語句について問うものなどさまざまですが、単に語彙や文法事項を暗記する力ではなく、全体の内容とのつながりの中で個々の文が表す意味を読み取る力が試されます。また作文問題では、状況や気持ちを自然な英語で的確に表現する力が重要です。まずは中学校で学習することを確実に身に付け、その上で過去問に取り組んでください。対策としては、英文の量が多いので、すばやく文章の大意をつかむ力が鍵となるでしょう。一語ずつ和訳していくというよりも、分からない単語に出会ったら文脈の中でその意味を推測して読みこなしてください。副教材などを利用して、普段からまとまった量の文章を読み、内容を英語のまま理解していく学習を積み重ねることをお勧めします。

国語

試験では、現代文の文章題を2題出題します。古典の読解問題は出題しません。出題の基本方針は、「与えられた文章をその文章の表現そのものに即して読む力がどれだけあるか」を測るための問題をつくる、ということです。言い換えれば、受験生の皆さんは、「文章とともに考える姿勢と力」が問われる、ということになります。あくまでも皆さんの読む力・考える力を知りたいわけですから、それとは直接結びつかないような文学史や古典の知識また文法についての細かな知識だけを問うことは避けたい、と考えています。したがって対策としては、受験に際して特別な準備をするというよりも、日頃から新聞をはじめとするさまざまな内容の文章を誠実に読み・考える、という態度を身につけておいて欲しいと思います。文章を読んだり話を聞いたりする際、中途半端でわかった気になったり、自分勝手に理解して満足することなく、「文章とともに考える姿勢」を心がけてください。

数学

試験では、たとえば整数についての興味深い問題や、図形についての性質、関数の意外な問題への応用など、「一つのテーマについてさまざまな視点から検討を加えて掘り下げてゆく」長文の資料文を読んでもらいます。ここでは、中学校で学んだ知識をもとに、新たなテーマについて総合的に読み解く力が問われます。ただし、そこに登場する目新しい記号や概念については、必ず資料文中で十分に解説されます。知識の有無ではなく、未知の課題を既存の材料をもとに意欲的に読み解く力を求めています。こうした力は、数学だけでなくどの分野の学習でも必要となりますし、入試という緊張を強いられる場面でも考える楽しさを味わってほしいと思います。上記のとおり、本校の数学入試問題は、日本の一般的な高校の入試問題とはスタイルが大きく異なります。対策として、過去問を実際に解いてみることは参考になりますし、70分という試験時間の使い方の練習にもなるでしょう。

※帰国生徒資格認定（帰国生徒入試のみ。p.14参照）⇒Webエントリー⇒出願書類提出で出願完了となります。

入試の種類	募集人数	選考方法	Webエントリー期間	出願書類受付期間	試験日	合格発表日	入学手続日	
帰国生徒入試	推薦入試	60名 (男女)	・書類審査 ・面接	2026年 11月上旬	2026年 12月上旬 郵送必着	2026年 12月16日(水)	2026年 12月17日(木)	2026年 12月18日(金)
	書類選考入試	90名 (男女)	・書類審査 ・面接	2026年 12月上旬	2027年 1月上旬 郵送必着	2027年 1月28日(木)	2027年 1月29日(金)	2027年 1月30日(土)
	学力試験入試	10名 (男女)	・学力試験 ・調査書 (成績証明書)	2026年 12月中旬～ 2027年 1月下旬	2027年 1月下旬 郵送必着	2027年 2月10日(水)	2027年 2月12日(金)	2027年 2月13日(土)
一般入試 (国際生徒枠を含む)	80名 (男女)	・学力試験 ・調査書	2026年 12月中旬～ 2027年 1月下旬	2027年 1月下旬 郵送必着	2027年 2月10日(水)	2027年 2月12日(金)	2027年 2月13日(土)	

※入学試験の詳細については募集要項をご覧ください（2027年度版は2026年7月より配布開始予定）。
※社会情勢等により、募集要項の内容に変更が生じる場合には、本校HP上にて発表いたします。

※帰国生徒資格認定（p.14参照）⇒Webエントリー⇒出願書類提出で出願完了となります。

入試の種類	募集人数	選考方法	Webエントリー期間	出願書類受付期間	試験日	合格発表日	入学手続日
第1学年 9月編入学試験	未定 (男女)	・書類審査 ・面接	2026年 6月上旬	2026年 6月中旬 郵送必着	2026年 7月8日(水)	2026年 7月9日(木)	2026年 7月10日(金)
第2学年 9月編入学試験	未定 (男女)	・書類審査 ・面接					

※入学試験の詳細については募集要項をご覧ください（2027年度版は2026年4月下旬より配布開始予定）。
※社会情勢等により、募集要項の内容に変更が生じる場合には、本校HP上にて発表いたします。

Admissions

Check!

QRを読み込んで
諸費用ページを
ご確認ください。



帰国生徒資格認定

帰国生徒入試を受験するには、必ず本校ウェブサイトから下記の期間に、帰国生徒資格認定の手続きを行ってください。

- ・2026年度9月編入学試験を受ける方は2026年3月下旬から6月上旬まで
- ・2027年度4月入学試験を受ける方は2026年5月から11月中旬まで
(ただし、推薦入試に出願する場合は10月上旬まで)

帰国生徒入試の書類審査

中学3年間の成績や外国語検定試験結果を総合的に審査するのが書類審査です。

受験生それぞれの海外在留歴と照らし合わせながら、その努力や適応の状況、言語の習得状況、成績の向上などを総合的に審査します。履修科目数やクラスのレベル、外国語検定試験結果なども重要な要素です。帰国生とはいっても、海外在留の時期や長さ、学校の種別、学習言語のちがいがなど、さまざまです。一人ひとりの状況をよく理解した上で、提出された資料を慎重に審査します。渡航直後や帰国直後など、学習言語が変化し直後の成績では、減点しません。

帰国生徒入試の面接

面接は受験生1名に対し面接担当教員2名の形式です。
面接時間は、試験の種類により5~10分です。

面接は日本語で行われますが、日本語の能力で審査に不利になることはありません。内容は、知識や正答を求めるものではなく、受験生がどのような人物か、過去の海外経験や現状さらに入学後の生活や将来についてどのような考えを持っているかを聞き、海外在留中の皆さんは、ぜひ現在滞在している国での生活や通っている学校での学習に、前向きに取り組んでください。すでに帰国した皆さんは、滞在国の歴史や文化、そこでの生活についての考察を、読書や家族との対話などにより、さらにふりかえり深めることを心がけてください。なお推薦入試と9月編入学試験では、出願時に提出された「自己PRカード」の内容についても質問しますので、しっかりと自分で考え、自分の言葉で書いてください。

制服紹介 (2026年度より)

式典や全校礼拝など学校が指定する日には、
学校指定のブレザーとネクタイを着用します。

- ・ネクタイは襟のあるシャツに締めますが、シャツの色や柄に指定はありません。
- ・ブレザーには二つのデザインがありますが、どちらを選ぶかは性別に依りません。
- ・ボトムス、靴下、靴は自由です。式典の趣旨に合うものを選んでください。



Aタイプ+パンツ



Bタイプ+スカート



通常授業日

学校指定日以外の服装は自由です。
ブレザーを着用しなくてもよいのですが、
カジュアルにも着られます。

学費

初年度納付金: 総計 1,179,100円 (2026年度)

● 入学金	: 330,000円
● 授業料	: 年額591,000円 (各学期197,000円)
● 施設費	: 年額180,000円 (各学期60,000円)
● 生徒会費	: 入会金500円 会費4,000円 (1学期に納付)
● 父母の会費	: 入会金3,000円 (1学期に納付) 会費15,600円 (3期分納)
● 学年会費	: 1年次55,000円 (1学期に納付) *2025年度実績

※2027年度に授業料を年額612,000円に改定する予定です。
※入学金をのぞく納付金の納入は、4月以降となります。

奨学金制度

本校独自の喜吉フォワード奨学金などがあります。

- ・ICU高校では、高等学校等就学支援金などの公的な支援・助成金のほか、東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県などの地方自治体が募集する貸付奨学金、団体による各種奨学金をご案内しています。
- ・本校独自の「国際基督教大学高等学校奨学金」は、家計状況もしくはその急変により学業を継続することが困難であるが、本校での学習及び学校生活の継続を希望する生徒を対象に、審査のうえ授業料6学期分を上限として給付するものであり、返還の義務はありません。
- ・本校卒業生保護者及びそのご家族の篤志により、「喜吉フォワード奨学金」が設けられています。これは、ICU高校設立の理念を理解し、その使命達成のために尽力する志ある生徒のうち、経済的事情により就学に困難のある者の就学および学校生活を支援し、その豊かな成長を図ることを目的に、2022年度から8年間にわたり設定されるものです。2027年度は4月入学生10名を上限に、入学金支援として50万円を給付する予定です。世帯年収490万円程度までの方には必ず給付します。さらに、世帯年収350万円程度までの方には、入学金支援に加えて、世帯年収に大きな変動がなければ2年次以降も毎年度に30万円ずつ追加して給付します。給付の決定及び給付は、毎年8月を予定しています。世帯年収の上限等、詳細については4月入学募集要項をご参照ください。

学寮



保護者が海外や遠隔地に住み、自宅からの通学が困難な生徒が、学校生活を円滑にするための生活の場を提供しています。日本での生活経験が短い寮生も多いため、ご家庭の責任ある関わりを前提としています。入寮には、心身共に健康で、集団生活をおくる上で支障がないことが条件となります(2名同室)。長期休暇に加えて、原則として試験休みと学期中の週末は閉寮します。閉寮時や急な病気などの場合にすぐ

にかけつけられる地域に、保護者あるいは身元引受人が居住している必要があります。キャンパス内に男子寮2棟(定員50名)、女子寮3棟(定員76名)があります。

学寮費 (2026年度)

● 入寮費	120,000円
● 寮費 (各学期 食費を除く)	198,000円

食事は食堂を利用できます。
(朝夕2食:2,167円/日 2026年度時点)

Information

Check!



Introduction to ICUHS Online

(オンライン説明会)

毎回ライブで説明を行い、学校の様子をお伝えします。
生徒スピーチも毎回異なる登壇者が行います。
詳細については、本校ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

秋の学校説明会 (オンライン形式)

在校生(国内生・帰国生)の話や、教員(国・数・英)による一般入試
／帰国生徒学力試験入試の説明および授業の様子紹介を行います。
10月、11月に実施します。
詳細については、本校ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

Campus Walk Hours(来校形式)

短時間の説明会と高校のキャンパス内を散策しながら、卒業生・
教員・在校生とざっくばらんにお話・質問をしていただけるイ
ベントです。

4月以降、実施する予定です。(完全事前予約制)
詳細については、本校ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

募集要項(願書)

9月編入学試験用は4月下旬より、4月入学試験用は
7月より、**送料無料で配布します(日本国内のみ)**。
ご希望の方は本校ウェブサイトよりお申し込みください。
Campus Walk Hoursなどでも配布予定です。

学校祭

9/23(祝・水)、9/24(木)に開催予定です。事前申込みが必要です。
詳細については、本校ウェブサイトで最新情報をご確認ください。

個別学校見学

海外在住など、やむをえず上記の催しにご参加になれない場合は、個別での見学も可能です。
本校ウェブサイトで見学可能日をご確認のうえ、本校ウェブサイトよりお申し込みください。
なお、授業、クラブ活動は原則として非公開です。

Check!



ICU高校へのアクセス

JR中央線武蔵境駅(南口)より

- 小田急バス「国際基督教大学」行にて、ICU高校(約12分)下車。徒歩1分。
「吉祥寺駅」行または「狛江駅北口」行にて、西野(約10分)下車。徒歩8分

JR中央線三鷹駅(南口)より

- 小田急バス「国際基督教大学」行にて終点(約20分)下車。徒歩6分

京王線調布駅(北口)より

- 小田急バス「武蔵境駅南口」行または鷹51系統「三鷹駅」行にて、
西野(約20分)下車。徒歩8分

西武多摩川線新小金井駅より

- 徒歩15分

JR中央線東小金井駅(南口)より

- 徒歩25分

*車両による入構は大学正門からお願いします。

Check!



国際基督教大学(ICU)高等学校

INTERNATIONAL CHRISTIAN UNIVERSITY HIGH SCHOOL

〒184-8503 東京都小金井市東町1-1-1
1-1-1, Higashi-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-8503, JAPAN

E-mail: icuhhs@icu.ac.jp

※入試・帰国生徒資格認定については
こちらのフォームからお問い合わせ下さい



Tel: 0422-33-3401 (代表)

Tel: 0422-33-3407 (入試担当)

ICUHS

検索

<http://www.icu-h.ed.jp/>

Photo: 吉富 祐一